



Deutsche Messe



2026年2月3日
合同会社International Linkage
ドイツメッセ日本代表

世界の製造業をリードする産業見本市
「HANNOVER MESSE 2026 (ハノーバーメッセ 2026)」
4月20日～4月24日開催

世界の製造業をリードする産業見本市「HANNOVER MESSE 2026 (ハノーバーメッセ 2026)」が、2026年4月20日（月）～24日（金）に、ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で開催されます。

「ハノーバーメッセ 2026」は電気、機械、デジタル、エネルギー分野の3,000社以上が、現在および将来の製造業とエネルギー供給に向け、AIが中核的な役割を担うソリューションを披露します。

今回の出展企業は、AWS、マイクロソフト、SAP、シナイダーエレクトリック、シーメンスといった世界的テック大手に加え、ベックフ、フェスト、ハーティング、ifm、ラップ、フェニックス・コンタクト、リタル、シェフラー、SEWなど、中小企業部門の主要テクノロジー企業も名を連ねています。また、フランホーファーやカールスルーエ工科大学（KIT）などの著名な研究機関が次世代の産業ソリューションについて説明するほか、さまざまな技術分野から300社超のスタートアップ企業が、破壊的な変化をもたらす可能性を秘めたイノベーションの展示を行います。

■開催概要

会期：2026年4月20日（月）～24日（金） 9:00～18:00

※最終日は、15:00に終了

会場：ハノーバー国際見本市会場 (Messegelände, 30521 Hannover, Germany)

主催・運営：ドイツメッセ株式会社 (Deutsche Messe AG)

所在地：Messegelände, 30521 Hannover, Germany Tel : +49 511 89 - 0

ホームページ：<https://www.hannovermesse.de/en/>

パートナー：ブラジル

出展者：60カ国から3,000社以上が出展予定

入場料金：1日券 (One-day admission) 35ユーロ

通し券 (Full-event admission) 90ユーロ

当日券（割引）(Day Ticket <reduced>) 23ユーロ *学生・高齢者・体の不自由な方など

※チケットの購入は、HANNOVER MESSE公式ホームページまで

<https://www.hannovermesse.de/en/for-visitors/tickets/index-2>

【本件に関するお問い合わせ先】

合同会社 International Linkage ドイツメッセ日本代表：竹生

東京都世田谷区玉川3-20-2 マノア玉川第3ビル501

TEL : 080-1396-9902、または 03-6403-5817

HANNOVER MESSE 2026

■ハノーバーメッセ 2026: 産業界はいかに変化の波を乗りこなすか

グローバル競争やコスト上昇、人工知能（AI）などにより、産業界は今や歴史的な変革期を迎えています。ハノーバーメッセ2026は、こうした課題をチャンスに変えるためのヒントを企業にご提案します。今回は、構成テーマの刷新、会場案内の最適化、交流プログラムの拡大などに加え、AIを展示の中心として打ち出すことにより、出展側と来場者側の双方にとって、より価値のある、目的に合った体験を提供します。

■AIは、すべての展示エリアに共通するテーマ

グローバル競争やコスト圧力の上昇、AIの進化により、産業界はかつてない変革期を迎えています。こうした変革期において、製造分野の企業は、イノベーションを紹介し、知識を共有し、ベストプラクティスを明示するプラットフォームを必要としています。ハノーバーメッセ2026は、まさにこの役割を担うものであり、自動化、デジタル化、エネルギー・システム、および研究開発が、どのように連携して競争力を確保できるかを実証します。

防衛セクター向けの生産技術も、新たなテーマ分野のひとつであり、防衛関連メーカーが安全性を損なうことなく、できるだけ短い時間で生産を拡大するための具体的なソリューションを出展各社が紹介します。

ドイツメッセのヨハン・カックラー取締役会議長（Dr. Jochen Köckler, Chairman of the Managing Board of Deutsche Messe AG）は、次のように述べています。

「この急速な産業変革期に企業が成功を収めるにはどうすべきか。ハノーバーメッセは、その方法を学ぶ機会となるでしょう。機械工学から自動車、電気産業まで、幅広い分野にわたり、効率性、持続可能性、回復力、競争力の向上に役立つソリューションを発見することができます。つまり、ハノーバーメッセは、自動化され、デジタル化された、AI主導の工場への道筋を提示します」。

電気、機械、デジタル、エネルギー分野の3,000社以上が、現在および将来の製造業とエネルギー供給に向け、AIが中核的な役割を担うソリューションを披露します。

カックラーは、「現代において、AIは極めて重要な技術的手段であり、あらゆる規模の企業に新たな可能性をもたらすものです。本展示会では、参加者が実際にAIを活用することにより、AIによっていかに生産性を高めることができるかを直接知ることができます」と述べています。

AIはすべての展示エリアに共通するテーマであり、ほぼすべての展示で中心的な役割を果たしています。さらに、ハノーバーメッセが主催するAI関連のツアー、特別講座、フォーラム、およびネットワーキングイベントも開催されます。

出展企業には、AWS、マイクロソフト、SAP、シュナイダーエレクトリック、シーメンスといった世界的テック大手に加え、ベッコフ、フェスト、ハーティング、ifm、ラップ、フェニック

ス・コンタクト、リタール、シェフラー、SEWなど、中小企業部門の主要テクノロジー企業も名を連ねています。また、フランホーファーやカールスルーエ工科大学（KIT）などの著名な研究機関が次世代の産業ソリューションについて説明するほか、さまざまな技術分野から300社超のスタートアップ企業が、破壊的な変化をもたらす可能性を秘めたイノベーションの展示を行います。

■刷新されたテーマ構成と最適化された会場案内

今回の主な変更点は、テーマ構成の再編とホールレイアウトの刷新です。来場者にとっては、順路がより分かりやすくなり、出展者は、関連分野での注目度をさらに高めることができるようになりました。

自動化とデジタル化については、ホール内の配置としてもテーマ内容としても、これまで以上に密接な関連性を持たせています。それによってハノーバーメッセは、AI制御ロボットやデータ駆動型のものづくりからデジタル化されたサプライチェーンに至るまで、ソフトウェアとハードウェアの融合の加速という明確なトレンドを映し出す展示会となっています。刷新されたテーマ構成に従い、3つの主要展示エリア「Automation & Digitalization (自動化とデジタル化)」、「Energy & Industrial Infrastructure (エネルギーと産業インフラ)」、「Research & Technology Transfer(研究と技術移転)」に分けられています。

「新しいレイアウトにより、工場ではかなり以前から実現しているプロセスと技術の相互連携が、来場者にとってわかりやすくなりました」とカックラーは説明しています。

■ビジネスチャンスを広げる新たな交流プログラム

ハノーバーメッセ2026では、ホールレイアウトの刷新に加え、新たな知識共有や交流プログラムの導入を通じて、コンテンツのさらなる充実を図っています。これにより、専門家とユーザーが、具体的な課題とその解決策について、実践的に意見交換できるようになります。マスタークラスやラウンドテーブル（円卓会議）、センターステージ（Center Stage）といった多彩なプログラムにより、ビジネスや技術革新、人脉作りのハブとしての役割を一層強めています。

センターステージでは、産業界、政界、科学界から第一人者が一堂に会し、基調講演やパネルディスカッションを通じて、いかにしてカーボンニュートラルな生産へのブレークスルーを実現するか、産業界の価値創造においてAIが果たす役割とは何か、また、欧州とそのパートナーがどのようにして技術的主権を確保できるか、といった現代の主要な問題に迫ります。

さらに、自動車、食品、家具、化学産業などの企業が、自社工場の取り組みを紹介し、製造における自動化、デジタル化、エネルギー効率化をどのように構想し、実現しているかを披露します。

■新たなテーマ分野：防衛生産エリア（Defense Production Area）

新たに設けられた防衛生産エリア（Defense Production Area）では、最新技術が、高度な拡張性を保ちながら、いかに安全保障上重要な製造要件を満たすことができるかを示しています。防衛産業の企業も他の産業分野と同様の課題に直面していますが、新たな地政学的環境下では、できるだけ短い期間で生産能力を急速に高めることができます。この新たな展示テーマは、企業がセキュリティと品質を損なうことなく、いかにしてそれらを達成できるかに焦点を当てています。

す。

カックラー：「防衛生産エリアは、現在のデリケートな環境において、自動化、デジタル化、および拡張性がどのように影響し合うかを示す、初の専用プラットフォームとなります」

■パートナー国ブラジル：戦略的に重要な成長パートナー

ハノーバーメッセ2026では、中南米最大の経済国ブラジルが主役として登場します。グリーンエネルギーや原材料、さらには急成長する産業市場に至るまで、同国は大きな可能性を秘めています。ブラジルでは、すでに1,500社を超えるドイツ企業が活動しており、国内工業生産高の約10%を占めています。

「ブラジルとの協力は単なる貿易関係を超えた戦略的パートナーシップです」とカックラーは述べています。「緊迫した国際情勢においては、信頼できるパートナーの存在が不可欠です。ハノーバーメッセは、こうした信頼関係を強化するための理想的な舞台となるでしょう」

■ハノーバーメッセについて

ハノーバーメッセは製造業のための世界最大級の産業見本市です。

電気、機械、デジタル、エネルギーなどの分野から3,000社以上の出展企業が一堂に会し、競争力のある持続可能な産業向けソリューションを紹介します。

主な展示分野は、「Automation & Digitalization（自動化とデジタル化）」、「Energy & Industrial Infrastructure（エネルギーと産業インフラ）」、「Research & Technology Transfer（研究と技術移転）」。AIは、すべての展示分野に共通するトピックです。多彩な会議プログラムも用意しています。

2026年4月20日から4月24日までハノーバーで開催。

パートナーカントリーはブラジルです。

以上